

各学年の旅行的行事を振り返って

第3学年 修学旅行【5月27日～29日 関東方面(横浜・日光・東京)】学年目標「北極星」

『北極星に向かって』

3学年 工藤 千春

新しい学級になり、ようやく慣れてきたかという4月下旬から修学旅行の準備が始まりました。子ども達の関心は、やはり横浜自主研修。見どころ満載の横浜みなとみらい地区をどう歩くか、各班の文化係が中心となり、旅行雑誌やインターネットから情報収集し、各班苦労しながら計画を立てていました。

そして旅行当日。早朝の新千歳空港には見送りの保護者と先生方、そして緊張と期待の入り混じった表情の子ども達。当然、飛行機に乗るのが初めての子どももいます。出発集会が終わり、歩き始めると、ほら！もう搭乗券が床に落ちています。この先大丈夫！？

横浜はこの日、快晴で気温26。羽田空港を降りてからの人の量、そして6月の関東特有の蒸した暑さ。飛行機で熟睡していた子ども達も、関東に来たことを一瞬で理解したはずです。日曜日の横浜は、どこも人混み。横浜中華街は言わずもがな、今年は赤レンガ倉庫で野外ライブも開催されており、とにかく賑やかな街に、「いつかここに住みたい！」「ごみごみしていて嫌！」など色々な感想をもったようです。

2日目は栃木県日光へ一路北上。乗り物が苦手な人の強敵いろは坂は、警戒ポイントでしたが全員無事に通過し、この日最初の目的地、華厳の滝に到着。落差97mの大瀑布は圧巻です。「滝なんて見てどうするの？」と言っていた子ども満足の大迫力でした。いろは坂を下った後は、世界遺産「日光東照宮」。徳川家康をまつっているこの神社は、国宝8棟、重要文化財34棟を含む55棟の建造物があります。それらは数多くの彫刻で飾られ、極彩色が施されており、まさに豪華絢爛。北海道にはないスケールの神社は見どころいっぱいでした。そんな中、多くの子ども達の関心は合格祈願守と、おみくじだった事はここだけの話です。

この日の宿は、鬼怒川ホテル三日月。おいしい夕食御膳と温泉宿のゆったりした雰囲気、そして大盛り上がりの学年レク。体育委員が準備していた知力と体力を使うレクと合間のカラオケによる楽しい時間を皆で共有しました。学級対抗レクでは3組が優勝し、景品のおやつがプレゼントされました。

朝を迎えるともう最終日、まずは東京に戻ります。高速道路はスカイツリーの近くを通りました。カメラのフレームに収まらないほどの高さに子ども達も驚いていました。向かうは上野の国立科学博物館。「新さっぽろの青少年科学館を大きくしたもの」と聞いてはいましたが、あまりにも大きく、展示も見ごたえたっぷりでした。特に理科好きの子は展示物に興味をそそられ時間が足りないと感じたようでした。

昼食後は、ついに羽田空港へ。旅の満足感、疲労感、お土産・・・たくさんの物をもって札幌に帰ります。飛行機では、私はベルト着用と同時に睡魔に負けてしまいました。

旅の最後のイベントはやはり「黄色いハンカチ」です。中央中の最高学年の生徒が一度だけ見ることが出来る風景。新校舎になって初めての黄色いハンカチは、旧校舎の時より、遠く小さくなっていましたが、確かにそれとわかります。これを見ると、札幌に帰ってきたということを実感します。



今回の修学旅行スローガンは「北極星」。これには、「航海の道しるべとなる北極星のように、自分たちも1・2年生の手本となるような学年になりたい」という意味が込められています。修学旅行には準備活動から、自主性と協調性を伸ばすためのたくさんの仕掛けがあります。様々な経験を積んで帰ってきた3年生は、先輩として一回り大きくなることが出来たはず。これからの学校生活で、あるべき姿を先輩たちに指し示す道しるべとして活躍してくれることが楽しみです。



第1学年 校外学習(炊事遠足)【6月1日 滝野自然学園】学年目標「温情」

『温情の旅』

1学年 野呂 綱衛

最高気温20度前後、降水確率0%、快晴。これ以上ない天候に恵まれ、滝野自然学園で校外学習(炊事遠足)を実施しました。班で話し合い、炊事メニューを決め、調理の役割分担を行い、食材は何を購入するかを相談して...入学したばかりで慌ただしい時期からコツコツと準備を進めてきました。

計画を立ててはみたものの、いざ実行となると予定通りにいかないことはあります。当日朝、バスは予定より5分程早く出発し、イオン札幌藻岩店へ。限られた時間の中、「野菜が無い...」「カレールーはどこだ...」「予算オーバーだから予定をちょっと変えよう...」など話し合いながら買い物をしていました。従業員さんからは「ジャガイモ、袋詰めしかないから今バラバラにして1個ずつ買えるようにするからね!」と優しい声をかけていただきました。

さて、いよいよ滝野自然学園へ。スタッフの方にご挨拶をし、いよいよ調理開始。薪割り・食材準備・かまどづくりなどの行程がありましたが、昨年度よりも学年の人数が多く、限られた場所・空間・物品で作業を進めていくことは大変だったと思います。それでも、自分たちで行動し1つの行事を完遂させたことは大きな自信にしてほしいと思います。何より、滝野自然学園のスタッフの方の「みんな頑張っていますね。」「いい学年ですね。」という言葉が嬉しかったです。本当に人の温情を感じる旅となりました。

予定していた学年レクは翌週月曜日、学校で解団式の前に行いしましたが、生徒たちが努力し積み上げて準備してきたものをすべて実施することができました。帰着時間の変更等、皆様にはご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力ありがとうございました。



第2学年 宿泊学習【6月1日～2日 富良野・滝川・秩父別方面】学年目標「飛躍」

『思いやり』

2学年 池田 恵美

宿泊学習に向けて、学年総会や各委員会の活動を通して一生懸命準備していました。当日は、天気に恵まれ、生徒は楽しみな様子で登校してきました。

最初の見学地は、北海道博物館でした。北海道命名150年という節目ということで、自分たちの住む北海道の歴史や自然について、展示物を興味深く見ていました。施設内では班行動でしたが、班長を中心に時間通りに行動できました。そこからは一路、富良野市へ向かいました。道中、バスレクで盛り上がり、美しい自然の景色に生徒たちの明るい歌声が響き、楽しそうに過ごしていました。富良野演劇工場では、コミュニケーションプログラムを体験しました。ゲームなどの活動を通じて、「伝える」と「伝わる」の違いや、互いを思いやることの大切さを感じることができたようです。講師の方が、「人はたくさん失敗をする。失敗はいい。でも、大切なことは、失敗した時に、成功するためにどうしたらいいかを考え、みんなで話し合うことが大切なことなのです。」という話をされ、生徒たちの心に深く響いた様子でした。最後は、講師の方々にお礼の気持ちを込めて中央中学校校歌を披露しました。

秩父別温泉では、学年レクが行われ、学年協議会を中心にクイズなどが行われました。生徒たちが積極的に楽しもうとしており、協力する姿が多く見られました。

2日目は、ボート・カヌー体験です。インストラクターの方の説明を真剣に聞き、安全に留意して取り組むことができました。楽しそうにオールをこぎ、どの生徒も笑顔でした。最後は、松尾ジンギスカン滝川本店での昼食でしたが、食欲旺盛で元気な2日間を過ごすことができました。

この宿泊学習の取組を通して、「主体的に取り組むこと」「感謝すること」「人を思いやること」など、日常生活にも大切なことを実感できたのではないかと思います。笑顔があふれ、有意義な宿泊学習となりました。



保護者の皆様へ

- ・札幌市では特別な教育的支援を必要とするお子様を対象に特別支援学級を設置しています。来年度の本校における特別支援学級について詳しくお聞きになりたい方は、1学期末までに教頭へお問い合わせください。
- ・公益財団法人東京海上日動教育振興基金から交通遺児の奨学金助成について案内が届いています。詳しくお聞きになりたい方は、1学期末までに教頭へお問い合わせください。